

# セミオープンシステムについて

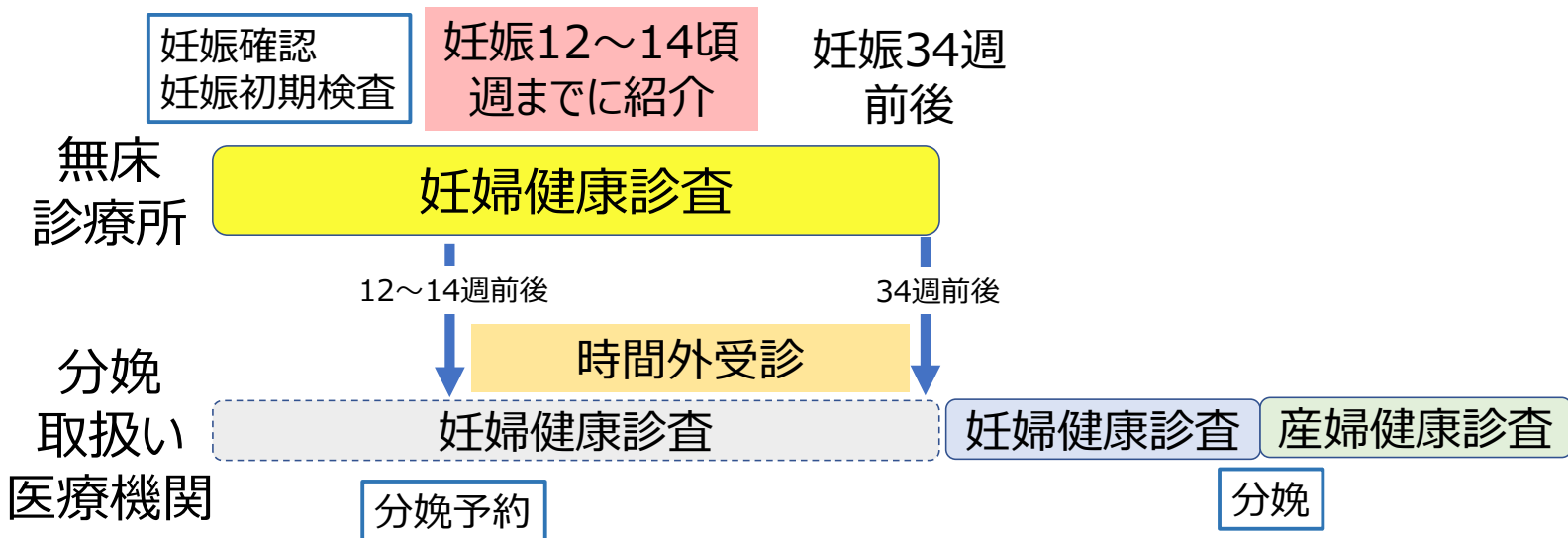
令和6年度第2回高知県周産期医療協議会  
2024. 12. 2

## 背景

- 無床診療所通院中の妊婦が休日夜間に相談できず、また、診療施設も無床診療所から診療情報が取得できず、ほぼ未受診妊婦の状態となったケースが増加した
- 特にコロナ禍で顕著になった
- 分娩取扱い施設の集約化にともない、分娩取扱い施設に分娩業務だけでなく、外来業務の逼迫が顕在化し、分娩管理業務に支障がきたしてきているため、診療所や公的医療機関との機能分担を進める必要がある。
- また、患者の分娩取扱い施設までのアクセスの課題もあり、自宅から近い、無床診療所もしくは分娩取扱い施設以外の産科婦人科で診療を受けたい要望も多い
- 休日夜間も安心して受診でき、さらに情報共有ができていくシステム(ルール)が必要である

# セミオープンシステムの概要

対象：リスクの低いと考えられる妊婦



## 課題

- セミオープンシステムと妊婦一般健康診査受診票の整合性について検討が必要
- 妊婦一般健康診査受診票の項目が高知県で進めている事業（HTLV1など）とずれが生じる
- 導入するにあたってのルールの策定